

2. 流域及び河川の自然環境

2.1 流域の自然環境

姫川は、仁科三湖の青木湖の北、佐野坂において湿田から湧出する水を源流としており、この付近一帯は、自然環境保全地域に指定されている。ここには、姫川の清らかなせせらぎの傍にホロムイソウ、カキツバタ、ミツガシワ等の湿原植物が自生し、自然探勝園として遊歩道が整備され、昭和60年には、環境庁の名水百選にも選ばれている。

佐野坂を下って四ッ庄盆地に入ると、姫川の左岸からは平川、松川等の荒廃溪流河川が注ぎ、姫川も一躍荒れ川の様相を帯びてくる。小谷に入り、浦川の合流したあたりから河原は広くなり、所によっては500m以上にも及ぶ。

北小谷を過ぎると再び溪谷状をなし、姫川温泉付近から小滝川の合流するあたりまでは、数百メートル以上の断崖がそそりたつ険しい峡谷となっている。また、このあたりの姫川溪谷は、蝶類の生息地としても有名でヒメギフチョウとクモマツマキチョウの生息地として新潟県の天然記念物に指定され、ヤマセミ、カワセミ等の溪流性の鳥も見られる。



姫川源流



山間部河道の状況

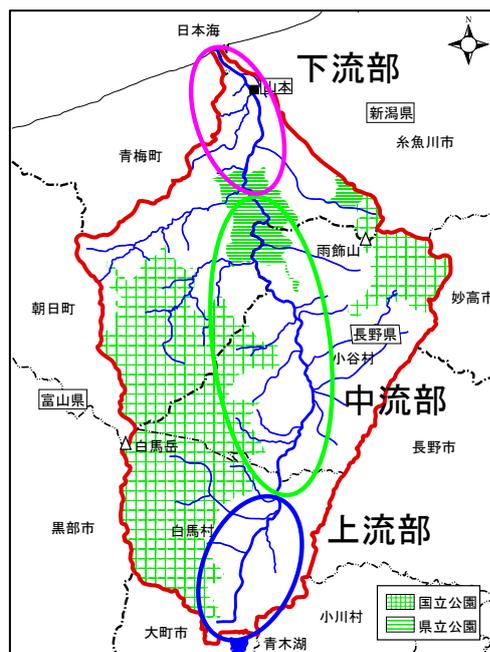


図 2-1 流域図

2.2 河川の自然環境

(1) 上流部

上流部では、山が川の近くまで迫っているために、ニホンカモシカやツキノワグマといった大型の哺乳類が河川敷に出現する。水質は非常にきれいであり、イワナ、アマゴなどの魚類が見られる。また、柵池湿原や姫川源流では、フクジュソウやミズバショウ等の水辺植物が豊富である。

(2) 中流部

山付部の斜面や崖面には、ケヤキ群落やツメレンゲ群落が分布しており、岩場等に特徴的な種が多くみられる。また、河原にはヤナギ林が所々に分布している。

(3) 下流部

下流部ではカワラヨモギ、カワラハハコ等の砂礫地に生息する植物が生育する。河口部左岸では、オカヒジキ、ハマヒルガオ等の海浜性植物が生育している。また、魚類ではアユやウグイの他、サケの遡上が見られる。

表 2-1 河川の区分環境と自然環境

区 分	下流部	中流部	上流部
区 間	河口～ 姫川第七取水堰	姫川第七取水堰～ 姫川第二取水堰	姫川第二取水堰～ 源流
地 形	扇状地	溪谷	山地
特 性	汽水域、瀬・淵、 礫河原、中州	溪流	瀬・淵、礫河原
河床材料	砂礫・石	砂礫・石・岩	砂礫・石・岩
勾 配	1/110 程度	1/60 程度	1/130 程度
植 物 相	カワラヨモギ、カワラハハコ、ハマゴウ、オカヒジキ、ハマヒルガオ、ヨシ	ツメレンゲ、ウスバサイシン、ヤマトシャクヤク、ヒメシャガ、ナツエビネ、オオコメツツジ	ホロムイソウ、カキツバタ、ミツガシワ、ダケカンバ、イワレンゲ、ミズバショウ、シラビソ
動 物 相	ウグイ、アユ、サケ、アユカケ、ヤマセミ、コチドリ、アカネズミ、カワラバッタ、ヤマトシジミ	ウグイ、イワナ、ニホンカモシカ、ツキノワグマ、カワセミ、ヒメギフチョウ、クモマツマキチョウ、オゼイトトンボ、カジカガエル	イワナ、ヤマメ、カジカ、カワガラス、ミソサザイ、ギフチョウ、ムカシトンボ、モリアオガエル、ハコネサンショウウオ

2.3 姫川のハビタット（植生域）等の変遷

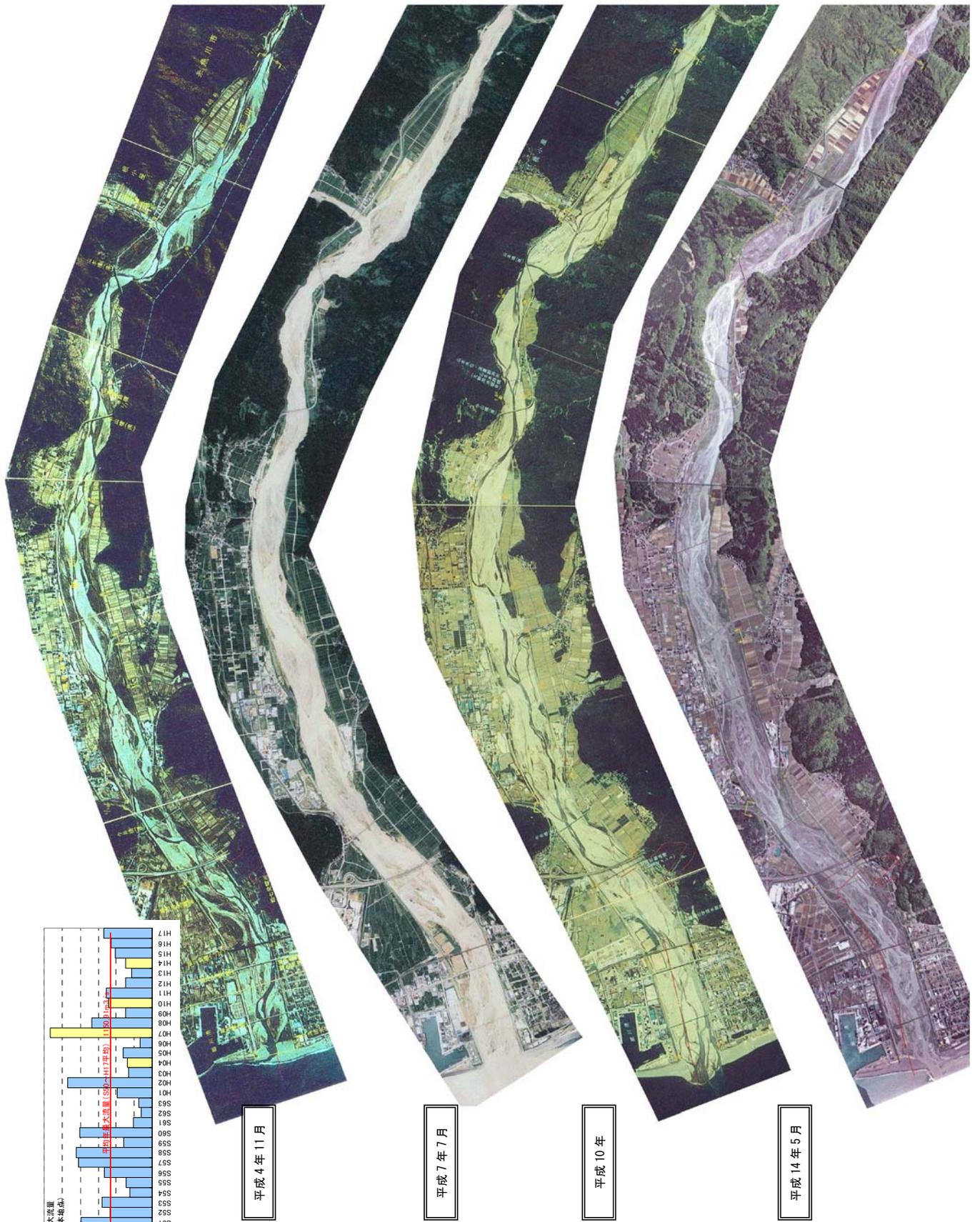
姫川の空中写真より、植生の変遷を整理すると以下の通りである。

- ・ 昭和 30 年、昭和 50 年の河道は、中州や河岸沿いに一部植生が侵入している。
- ・ 一方、昭和 58 年には顕著な植生域はみられない。これは、昭和 57 年と昭和 58 年に連続して発生した 2,000m³/s 規模の 2 度の出水により植生が流出したものと考えられる。
- ・ 平成 2 年には、2,000m³/s を越える出水が発生しているが、河道内に植生が認められる。
- ・ 平成 4 年には、かなり植生化が進んでいるが、平成 7 年には、2,800m³/s の洪水が発生し、ほぼ全ての植生が流出した。
- ・ その後、平成 10 年には植生の回復はみられないものの、平成 14 年には中州や河岸沿いで植生の回復が認められる。

また、平成 7 年洪水後のハビタットの変遷について行われた調査結果より、ハビタットの面積率の変化を示すと、図 2-2～図 2-4 のようである。

- ・ どの区間においても、平成 7 年出水により植生帯が破壊され、平成 10 年時点でも植生の侵入は少なく、ほとんどが自然裸地である。
- ・ 平成 11 年になると、低茎草地の侵入がみられるようになる。虫川合流（4.0k～5.0k）、根小屋（9.0k～10.0k）では、高茎草地割合も増加している。
- ・ 平成 12 年になると、植生域の割合は、洪水前と同程度まで回復している。ただし、虫川合流（4.0k～5.0k）では、工事の影響もあり、低茎草地の割合が最も多くなっている。また、根小屋（9.0k～10.0k）では、低木林が形成され、多年生草本類も安定した群落を形成しつつある。

以上より、大規模な出水によって植生域等の河川環境が破壊された場合でも、植物の復元は早く、出水後数年間で回復することを示している。



空中写真から見た変遷(2)

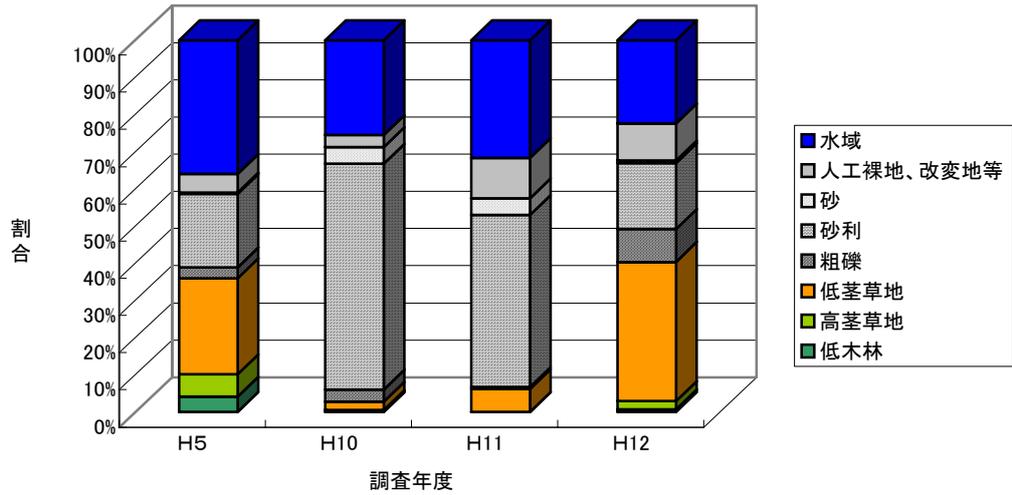


図 2-2 ハビタットの測定結果（河口付近）

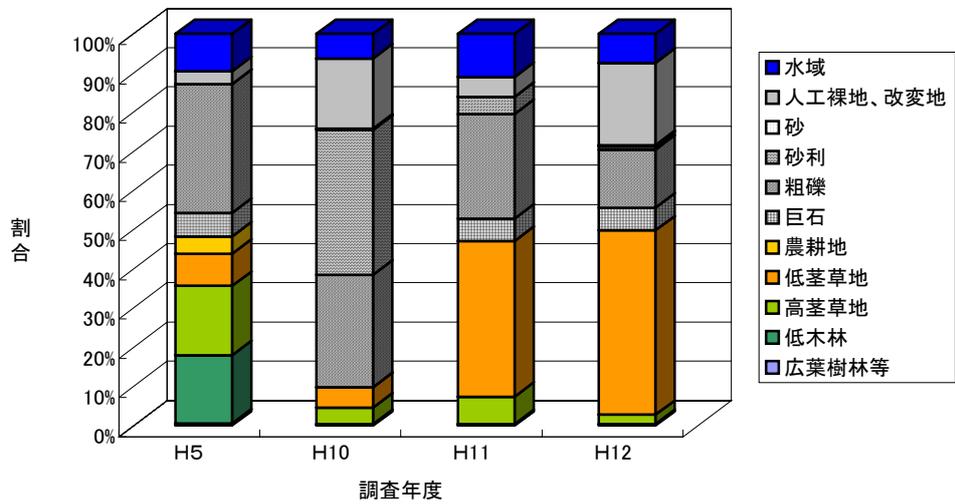


図 2-3 ハビタットの測定結果（虫川合流）

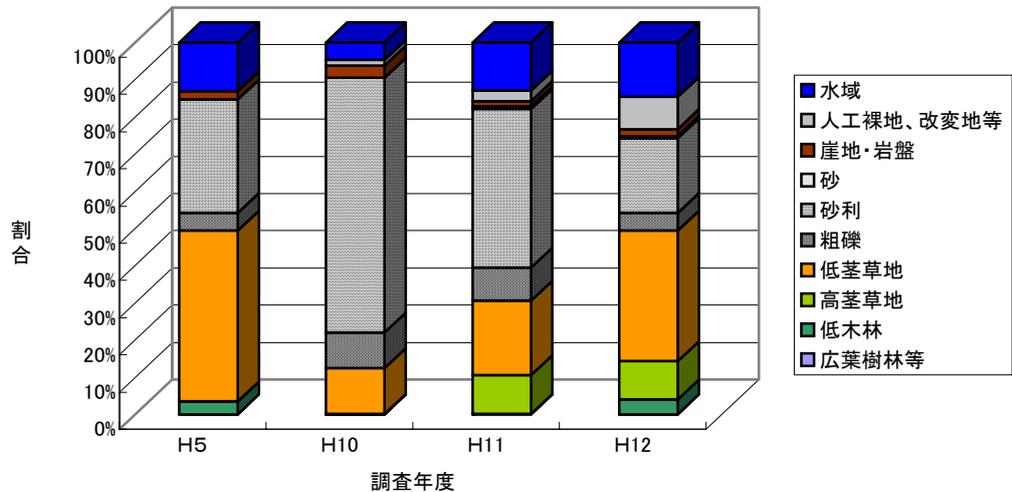


図 2-4 ハビタットの測定結果（根小屋）

2.4 姫川における特定種

(1) 特定種の選定基準

姫川における特定種を、河川水辺の国勢調査等の調査結果をもとに、レッドデータブック・レッドリスト（環境省）の記載種、天然記念物指定種等の学術上又は希少性の観点から抽出した。

表 2-2 特定種の選定基準(植物)一覧表

「文化財保護法」

特:国指定特別天然記念物
国:国指定天然記念物

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

I:国内希少野生動植物種
II:国際希少野生動植物種

「環境省RL(見直し2006,2007)」

EX:絶滅
EW:野生絶滅
CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類
CR:絶滅危惧ⅠA類
EN:絶滅危惧ⅠB類
VU:絶滅危惧Ⅱ類
NT:準絶滅危惧
DD:情報不足
LP:絶滅のおそれのある地域個体群

「レッドデータブックにいがた ー新潟県の保護上重要な野生生物ー 2001」

EX:絶滅
EW:野生絶滅
EN:絶滅危惧Ⅰ類
VU:絶滅危惧Ⅱ類
NT:準絶滅危惧
LP:絶滅のおそれのある地域個体群

表 2-3 姫川で確認された特定種一覧表(鳥類)

No	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	(見直 2007)	新潟県 RDB
1	コクガン	<i>Branta bernicla</i>	国		VU	NT
2	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			DD	
3	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>			NT	NT
4	ハチクマ	<i>Pernis apivorus</i>			NT	NT
5	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	国	I	EN	EN
6	オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>	国	I	VU	EN
7	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>		I	VU	NT
8	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>			NT	NT
9	ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>			NT	NT



オオワシ



ミサゴ

表 2-4 姫川で確認された特定種一覧表(魚介類)

	No	和名	学名	重要種選定根拠			
				文化財 保護法	種の 保存法	(見直 2007)	新潟県 RDB
魚類	1	スナヤツメ	<i>Lethenteron reissneri</i>			VU	NT
	2	カワヤツメ	<i>Lethenteron japonicum</i>			VU	NT
	3	マルタ	<i>Tribolodon brandti</i>			LP	
	4	サクラマス	<i>Oncorhynchus masou masou</i>			NT	
	5	ヤマメ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>			NT	
	6	ニッコウイワナ	<i>Salvelinus leucomaenis pluvius</i>			DD	
	7	カマキリ	<i>Cottus kazika</i>			VU	NT
	8	カジカ	<i>Cottus pollux</i>			NT	
	9	ウツセミカジカ	<i>Cottus reinii</i>			EN	NT
貝類	10	オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>			NT	



カマキリ (アユカケ)



ウツセミカジカ

表 2-5 姫川で確認された特定種一覧表(底生動物)

No	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	(見直 2007)	新潟県 RDB
1	ヒラマキガイモドキ	<i>Polypylis hemisphaerula</i>			NT	

表 2-6 姫川で確認された特定種一覧表(陸上昆虫類)

No	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	(見直 2007)	新潟県 RDB
1	アシマダラコモリグモ	<i>Alopecosa hokkaidensis</i>			DD	
2	カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>				VU
3	シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i>			NT	NT
4	ミヤマシジミ	<i>Lycaeides argyrognomon praeterinsularis</i>			VU	VU
5	カワラハンミョウ	<i>Chaetodera laetescrpta laetescrpta</i>			VU	NT
6	ゲンゴロウ	<i>Cybister japonicus</i>			NT	NT
7	ヒメビロウドカミキリ	<i>Acalolepta degener</i>				LP
8	オオセイボウ	<i>Stilbum cyanurum</i>				NT
9	ニッポンハナダカバチ	<i>Bembix niponica</i>			NT	



シロヘリツチカメムシ



ミヤマシジミ

表 2-7 姫川で確認された特定種一覧表(両性類・哺乳類)

【両生類】

No	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	(見直 2007)	新潟県 RDB
1	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>			NT	
2	トノサマガエル	<i>Rana nigromaculata</i>				VU
3	モリアオガエル	<i>Rhacophorus arboreus</i>				NT
4	カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i>				NT

【哺乳類】

No	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	(見直 2007)	新潟県 RDB
1	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	特			



カジカガエル

表 2-8(1) 姫川で確認された特定種一覧表(植物)

No	和名	学名	重要種選定根拠			
			文化財 保護法	種の 保存法	(見直 2007)	新潟県 RDB
1	ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i>				VU
2	イワヒバ	<i>Selaginella tamariscina</i>				VU
3	トクサ	<i>Equisetum hyemale</i>				NT
4	イヌドクサ	<i>Equisetum ramosissimum</i>				NT
5	コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i>				LP
6	コハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i> var. <i>nipponicum</i>				VU
7	イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i>				VU
8	ツルデンダ	<i>Polystichum craspedosorum</i>				NT
9	ヒメカナワラビ	<i>Polystichum tsus-simense</i>				VU
10	カラマツ	<i>Larix kaempferi</i>				LP
11	アカメヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>				VU
12	ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i>				LP
13	ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i>				LP
14	シナノナデシコ	<i>Dianthus shinanensis</i>				VU
15	フサザクラ	<i>Euptelea polyandra</i>				LP
16	オオバショウマ	<i>Cimicifuga acerina</i>				LP
17	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>				NT
18	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>				VU
19	ツメレンゲ	<i>Orostachys japonicus</i>			NT	VU
20	ヒメウツギ	<i>Deutzia gracilis</i>				VU
21	ハルユキノシタ	<i>Saxifraga nipponica</i>				VU
22	ザイフリボク	<i>Amelanchier asiatica</i>				LP
23	クサボケ	<i>Chaenomeles japonica</i>				VU
24	ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>				NT
25	カワラサイコ	<i>Potentilla chinensis</i>				VU
26	ハマナス	<i>Rosa rugosa</i>				VU
27	エゾノタチツボスミレ	<i>Viola acuminata</i>				LP
28	ケマルバスマシレ	<i>Viola keiskei</i> f. <i>okuboii</i>				LP
29	ヤマゼリ	<i>Ostericum sieboldii</i>				LP
30	マメダオシ	<i>Cuscuta australis</i>			CR	
31	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>				NT
32	イブキジャコウソウ	<i>Thymus serpyllum</i> ssp. <i>quinquecostatus</i>				NT
33	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosaefolia</i>				EN
34	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorum</i>			VU	EN
35	フクド	<i>Artemisia fukudo</i>			NT	
36	フジアザミ	<i>Cirsium purpuratum</i>				NT
37	リュウノウギク	<i>Dendranthema japonicum</i>				NT
38	ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i>				VU
39	カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i>			NT	VU
40	ササユリ	<i>Lilium japonicum</i>				VU
41	ヤマスカシユリ	<i>Lilium maculatum</i> var. <i>monticola</i>			NT	VU
42	シラスゲ	<i>Carex doniana</i>				LP
43	マスクサ	<i>Carex gibba</i>				NT



カワラニガナ (キク科)



ヤマスカシユリ (ユリ科)

コラム3 すみ分ける2種類のギフチョウ 境界上の姫川流域では両方見られるよ

原始的なチョウとして似た特徴をもつ2種類のチョウなのに、なぜ生息している地域がはっきりわかれているんだろう。

その答えは、幼虫が食べる葉のちがい。ギフチョウの幼虫は基本的にカンアオイの仲間のヒメカンアオイという草の葉を食べ、ヒメギフチョウの幼虫はウスバサイシンを食べるからなんだ。そこで2種類の植物の分布と重なり合うようにチョウの分布も本州中央部で東と西に分けられている。この分布境界線は「リュードルフィア線」と呼ばれていて、ライン上にはギフチョウとヒメギフチョウのまじりあってすむ地帯が8カ所ほど確認されている。姫川流域もその一つ。特に源流域や糸魚川市の平岩付近で両方のチョウを観察できるチャンスがありそうだ。

4月下旬から5月下旬にかけて「春の女神」と呼ばれる2種類の美しいチョウを見つけに行こう。だけど絶滅が心配されているチョウだから、そっと観察するだけにしようね。

出典：ふるさと姫川・不思議ランド、松本砂防工事事務所

2.5 特徴的な河川景観や文化財等

(1) 姫川の名の由来

「古事記」や「出雲風土記」などの古代文献に、高志国（現在の福井県から新潟県）の姫として登場する「ぬなかわひめ奴奈川姫」に、出雲国（今の島根県）のおおくにぬしのみこと大国主命が求婚しに来たという神話が残されており、その際に、ヒスイが使われるなど、古い歴史を持っている。この奴奈川姫が姫川の由来とされている。



奴奈川姫（糸魚川駅前公園）



ヒスイの勾玉

(2) 観光・景勝地

「白馬連山の高山植物帯」や「小滝川の硬玉山地」は国の天然記念物に指定されており、沿川は、白馬山麓県立自然公園に指定され四季を通じて風光明媚な景観をみせ、夏は絶好の避暑地として訪れる人々も多い。姫川は全川を通して水質は良好であり、特に源流の湧水は名所として親しまれている。また、源流は、全国的にも珍しくその源が明瞭となっており、ハイキングの場等として利用されている。

支川根知川周辺では、フォッサマグナの露頭が発見されたことにより、地質学的に注目されており、また、塩の道等歴史的資源も豊富である。



小滝川ヒスイ峡（新潟県 HP より）



松本街道（塩の道）（新潟県 HP より）



姫川源流



明星山



北アルプスの山並み



姫川支川根知川合流点付近のようす



八方尾根 (白馬村 HP より)



つがいけ
梅池自然園 (白馬村 HP より)

コラム4 明星山は南からやってきたサンゴ礁 まるで化石のかたまりだ

姫川から、小滝ヒスイ峡で知られる小滝川をさかのぼってみよう。ヒスイ峡の向こう岸におおいかぶさるようにそびえ立つのが明星山だ。この山は全体が石炭岩でできている。この石炭岩は、赤道に近い温かくきれいな浅い海にすんでいた石炭質の殻を持つサンゴとか貝といった生物の遺骸がたまってできたもの。ここからはたくさんの化石が出ていて、それらの進化の程度を調べてみると、3億5000万年前の石炭紀前世後期から2億5000万年前のペルム紀後世前期にいたる約1億年の間にかたちづくられたことがわかる。

明星山の地質をもっと詳しく調べてみると、石炭岩の下には砂が固まってできた砂岩、泥が固まってできた泥岩の層が重なっている。その中からは、石炭岩から見つかった化石よりも新しい時代のペルム紀の化石が出てきた。つまり、明星山は川原にころがっている石を大きくしたような巨大な一つの岩ということだ。

また、石炭岩にくっついて、マグマが地上に出て固まった玄武岩や、火山灰が固まった凝灰岩を見つけることができる。

こうした事実からわかることは、明星山はもともと数億年前に赤道近くの海底火山の上でできた大きなサンゴ礁で、それが海洋プレートにのって運ばれてきたということだ。

出典：ふるさと姫川・不思議ランド、松本砂防工事事務所

コラム5 日本海と信州を結ぶ「塩の道」 みんなで歩いてみよう

日本海側の糸魚川と内陸の信州（現在の長野県）を結ぶルートは、古代から交通路としてひらかれていた。この道を通して、海のない信州に塩や塩付けの魚が運ばれていたのが「塩の道」と呼ばれるようになったんだ。

このような「塩の道」は全国にいくつもあるけど、その中で姫川流域を通る「塩の道」は、戦国時代に上杉謙信が敵の武田信玄に塩をおくった時につかわれたことでよく知られているよ。でも、さまざまな物資が盛んに行き来するようになったのは江戸時代になってからのことだ。

「塩の道」は、姫川をはさんで糸魚川から入る東の道と青海から入る西の道と二つのルートがあり、それぞれ信州への入り口にあたる山口と虫川には人や荷物をあらためる口留番所がおかれていた。また、信州側の口留番所は、越後への入り口となる千国（小谷村）におかれていた。

一般に、道は川があれば川沿いにつくられるはずなのに、この「塩の道」は川からはずれて山の中腹や尾根づたいに続いている。これは姫川の場合、川のすぐそばまで急なだんがいがせまっているし、冬はなだれも多い。大雨がふれば、たびたび洪水やがけくずれを起こすから川沿いにはつくれなかったんだ。だけど、山道だって危険が多かった。道幅は狭いし、冬はたくさん雪が積もるし、吹雪の中をゆくこともある。荷をはこぶ人たちが命をなくしたり、牛が川に落ちたり、その苦労は計りしれないものがあったんだ。

出典：ふるさと姫川・不思議ランド、松本砂防工事事務所

(3) 文化財等

姫川流域には、平安後期の作とされ、国の重要文化財に指定されている木造十一面観音像や、かつての集落の風景を伝える白馬村の青鬼地区をはじめとして、多くの文化財が存在している。



木造十一面観音像
(糸魚川市 HP より)



青鬼地区
(白馬村 HP より)



大宮諏訪神社



石原白山社の大スギ

表 2-9(1) 姫川流域の国指定文化財

重要文化財

県	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
新潟	彫刻	木造十一面観音立像	1軀	T12. 3. 28	糸魚川市水保字松衛	宝伝寺	平安後
長野	建造物	旧中村家住宅 主屋・土蔵	2軀	S9. 12. 3	大町市美麻17668		元禄～安永
長野	建造物	神明社本殿 諏訪社本殿	2軀	S24. 5. 30	三日市場		

重要有形民俗文化財

県	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	
新潟	有民	越後姫川谷の ポッカ運搬用具コレクション	706点	H16. 2. 6	糸魚川市根知	塩の道資料保存会	
新潟	有民	糸魚川木地屋の製品用具と製品 コレクション附 木地屋関係文書	1,421点 附40点 計1,461点	H18. 3. 15	糸魚川市大所	木地屋会	

重要無形民俗文化財

県	種別	名称	指定年月日	所在地	保護団体	
新潟	民俗芸能	糸魚川・能生の舞楽	S55. 1. 28	糸魚川市一の宮 糸魚川市能生	天津神社舞楽会 白山神社文化財保存会	
新潟	民俗芸能	根知山寺の延年	S55. 1. 28	糸魚川市山寺	日吉神社奉賛会	
新潟	風俗慣習	青海の竹のからかい	S62. 12. 28	糸魚川市青海	青海竹のからかい保存会	

記念物

県	種別	名称	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
新潟	史跡	長者ヶ原遺跡	S46. 5. 27 (S60. 5. 14追加)	糸魚川市一の宮	糸魚川市	縄文中
新潟	史跡	寺地遺跡	S55. 12. 5	糸魚川市寺地字寺地	糸魚川市	縄文中期～
新潟	史跡	松本街道	H14. 3. 19	糸魚川市大野ほか	糸魚川市ほか	室町～明治
新潟	天然記念物	小滝川硬玉産地	S31. 6. 29	糸魚川市小滝	糸魚川市	
新潟	天然記念物	青海川の硬玉産地及び 硬玉岩塊	S32. 2. 22 (H13. 1. 29名称変更及び追加)	糸魚川市橋立(産地) 糸魚川市青海(岩塊) 糸魚川市外波(岩塊)	糸魚川市	
新潟 長野	特別天然記念物	白馬連山高山植物帯	S27. 3. 29	糸魚川市・白馬村 (富山県)	農林水産省	

重要伝統的建造物群保存地区

県	種別	名称	選定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
長野		青鬼地区	H12. 12. 4	白馬村青鬼		

出典：新潟県の文化財一覧（新潟県教育庁；平成18年）、大町市大町市統計要覧2005、白馬村HP、小谷村HP

表 2-9(2) 姫川流域県指定文化財

有形文化財

県	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
新潟	彫刻	木造十一面観音立像 木造阿弥陀如来坐像	2軀	S29. 2. 10	糸魚川市日光寺	日光寺	平安後
新潟	彫刻	木造奴奈川姫神像	1軀	S29. 2. 10	糸魚川市一の宮1-3-34	天津神社	平安後
新潟	彫刻	木造女神坐像	3軀	S56. 3. 27	糸魚川市一の宮1-3-34	天津神社	平安～鎌倉
新潟	工芸品	経王寺の梵鐘	1口	S47. 3. 28	糸魚川市新鉄1-2-11	経王寺	室町中
新潟	考古資料	天神山姫塚経塚出土品	3	S37. 3. 29	糸魚川市青海4652	青海神社	平安後
新潟	史跡	相馬御風宅		S27. 12. 19	糸魚川市大町2-10-1	糸魚川市	明治
新潟	史跡	根知城跡		S63. 3. 25	糸魚川市根小屋ほか (面積592.204.03㎡)	根知城跡史跡保存会	室町後
新潟	天然記念物	クモマツマキチョウ及び ヒメギフチョウ生息地		S29. 2. 10	糸魚川市小滝	糸魚川市	
新潟	天然記念物	真光寺の大イチョウ		S35. 3. 28	糸魚川市真光寺白山神社	真光寺地区	
新潟	天然記念物	杉之当の大スギとシナノキ		S50. 3. 29	糸魚川市杉之当292	白山神社	
新潟	名勝	親不知子不知		S37. 3. 29 (S49. 3. 30 追加指定)	糸魚川市市振	糸魚川市	
長野	天然記念物	大塩のイヌ桜		S37. 7. 12	大町市美麻3342		
長野	天然記念物	八方尾根高山植物帯		S39. 8. 20	八方尾根一帯		
長野	天然記念物	恐竜足跡化石		H15. 4. 21	小谷村北小谷土沢流域	(小谷村郷土館に展示)	
長野	天然記念物	石原白山社の大スギ		S40. 4. 30	小谷村中土石原		
長野	県宝	大宮諏訪神社 本殿 附棟札	1棟 附3枚	S41. 1. 27	小谷村中土中谷		元和～享保
長野	県宝	銅造阿弥陀如来及両脇侍立像	3軀	H8. 2. 15	小谷村北小谷来馬		鎌倉時代後半

重要文化財

県	種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
長野		銅製御正体	2面	S52. 3. 31	白馬村三日市場		

重要埋蔵文化財

県	種別	名称	選定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
長野		船山遺跡	S53. 6. 16	白馬村蕨平		

無形民俗文化財

県	種別	名称	選定年月日	所在地	所有者・管理者	時代
長野		大宮諏訪神社 狂拍子と奴踊り	H3. 2. 14	小谷村中土中谷	大宮諏訪神社	

出典：新潟県の文化財一覧（新潟県教育庁；平成18年）、大町市統計要覧2005、白馬村HP、小谷村HP

2.6 自然公園等の指定状況

上流部、西側山地一帯が中部山岳国立公園に指定されているのをはじめ、右支川中谷川上流域が上信越高原国立公園の一部に、また、下流域のヒスイで有名な小滝川および根知川流域周辺では白馬山麓県立自然公園に指定されているなど、豊かな自然環境を形成している。

表 2-10 自然公園一覧

適用区域名等	名称	指定
国立公園	上信越高原国立公園	昭和24年9月7日 昭和31年7月10日 追加指定
	中部山岳国立公園	昭和9年12月4日
新潟県立自然公園	白馬山麓県立自然公園	昭和32年3月24日

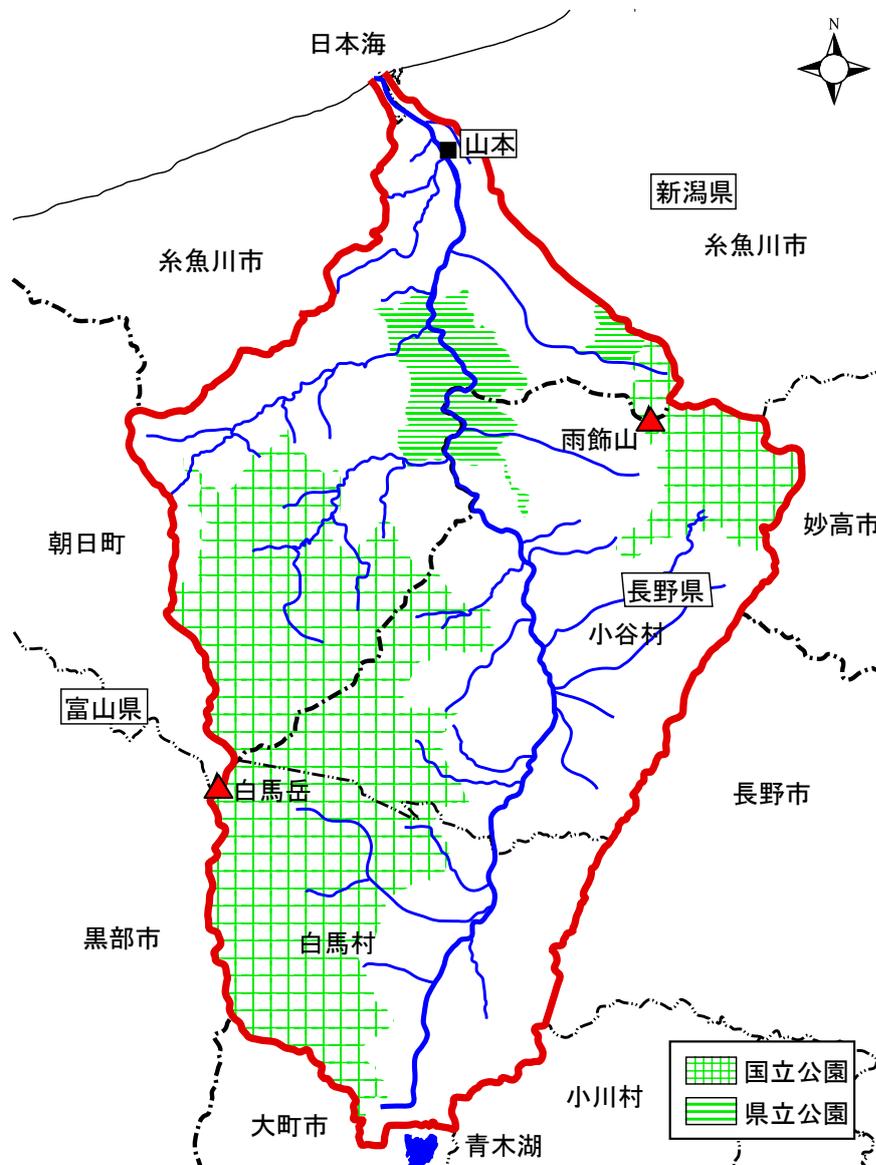


図 2-5 姫川流域の自然公園等位置図